



令和2年3月1日

白鳩保育園

保健衛生係



普段から気をつけよう。予防方法について

◎お家でこまめに鼻水を吸ってあげる

鼻水には大量の細菌やウイルスが含まれているので、鼻水のケアを念入りにしましょう。

◎タバコの煙を避ける

タバコの煙に含まれる青酸ガスの影響で、中耳炎になりやすくなります。



中耳炎になったら…。応急処置について

耳の周囲を氷嚢などで冷やすと、痛みが和らぎます。耳から膿や水が出できた場合は、耳たぶ周囲を拭くのみにして、耳の中をいじったり耳栓をすることは避けてください。また、入浴はせずに安静にしてください。



中耳炎になったら、登園しても大丈夫？

耳だれが出ている時や、黄色い膿のような鼻水が出ている時は、集団生活を避けた方がいいでしょう。熱がある時や、激しい耳の痛みがある時は無理せず家でゆっくり休みましょう。

耳の健康

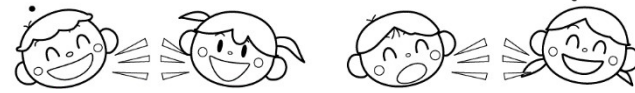
子どもは耳管の構造上、中耳炎を起こしやすかったり、難聴が発見しにくかったり、耳の状態により注意していかなくてはなりません。耳の聞こえやさまざまな病気など、確認のしかたと対応法を覚えて、早期発見早期対応になるよう、気をつけていきましょう。



ことばと聴力

0～4歳は、ことばを覚える重要な時期。このとき両耳が聞こえない状態だと、ことばの習得が難しくなります。

難聴は生まれつきのことが多いのですが、中耳炎など耳の炎症から難聴になることもあります。子どもの耳の健康について、日ごろから気をつけていくようにしましょう。



子どもの「聞こえ」チェック

「聞こえてる？」と心配になったら、確認してみましょう。

- 大きな音に驚いたり、目を覚ましたりするか
- おもちゃの音に振り向くか
- 周囲の呼びかけに振り向くか
- 音楽に合わせて踊るか
- 好きな音楽やCMソングなどに反応するか
- 声のみの指示に従うか
- 発達にそって、習得することばは増えているか
- ことばのまねっこをするか



気をつけよう！ 耳の病気

外耳炎

原因

耳の入り口から鼓膜までの外耳道に炎症や湿しんができた状態。耳あかが原因になることもある。

症状

湿疹ができるとかゆい、耳を触ると痛い、発熱や膿が出ることもある。

治療

抗生物質の点耳薬や内服薬を使うと、1週間程度で治まる。

ポイント

外耳炎になったら、耳をむやみに触らないように。

急性中耳炎

かぜが原因で起こることが多く、ウイルスや細菌が中耳に達して炎症を起こした状態。

激しい耳の痛みと、高熱。一時的な難聴・閉そく感がある。耳だれが出たり、乳児の場合は、おう吐や下痢が見られることも。

化膿していなければ、抗生物質の服用で、ほぼ治まる。

繰り返し中耳炎を起こすと、滲出性中耳炎になりやすいので、きちんと治すように。

しんしゃつせい 滲出性中耳炎

中耳内に分泌液がたまった状態。かぜや、急性中耳炎の繰り返しが原因で起こる。

痛みや熱はないが、耳が聞こえにくくなったり、閉そく感・耳鳴りがある。

必要に応じて鼓膜を切開し、たまった液を抜いて様子を見る。分泌液が吸収されて、自然に治ることも多い。

痛みがなく気づきにくいので、耳の聞こえや様子の変化に注意。